

第3回検討会用資料

アンケート調査(案)
～目的・対象・調査項目について～

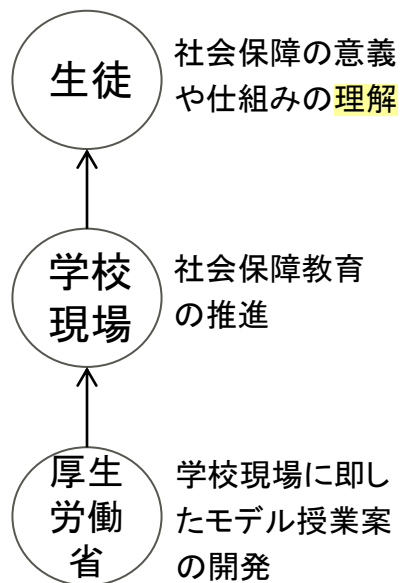
株式会社富士通総研
2021年8月3日

アンケート調査で把握すること

▶ 本事業の目的は生徒が社会保障について理解することですが、理解状況の捉え方として、教材評価・学力形成・行動変容の3つがあると考えます。それぞれにおいて、アンケート調査で把握すること・対象・想定される調査項目を下図に示します。

社会保障教育の理解状況の捉え方

本事業の主体と目的

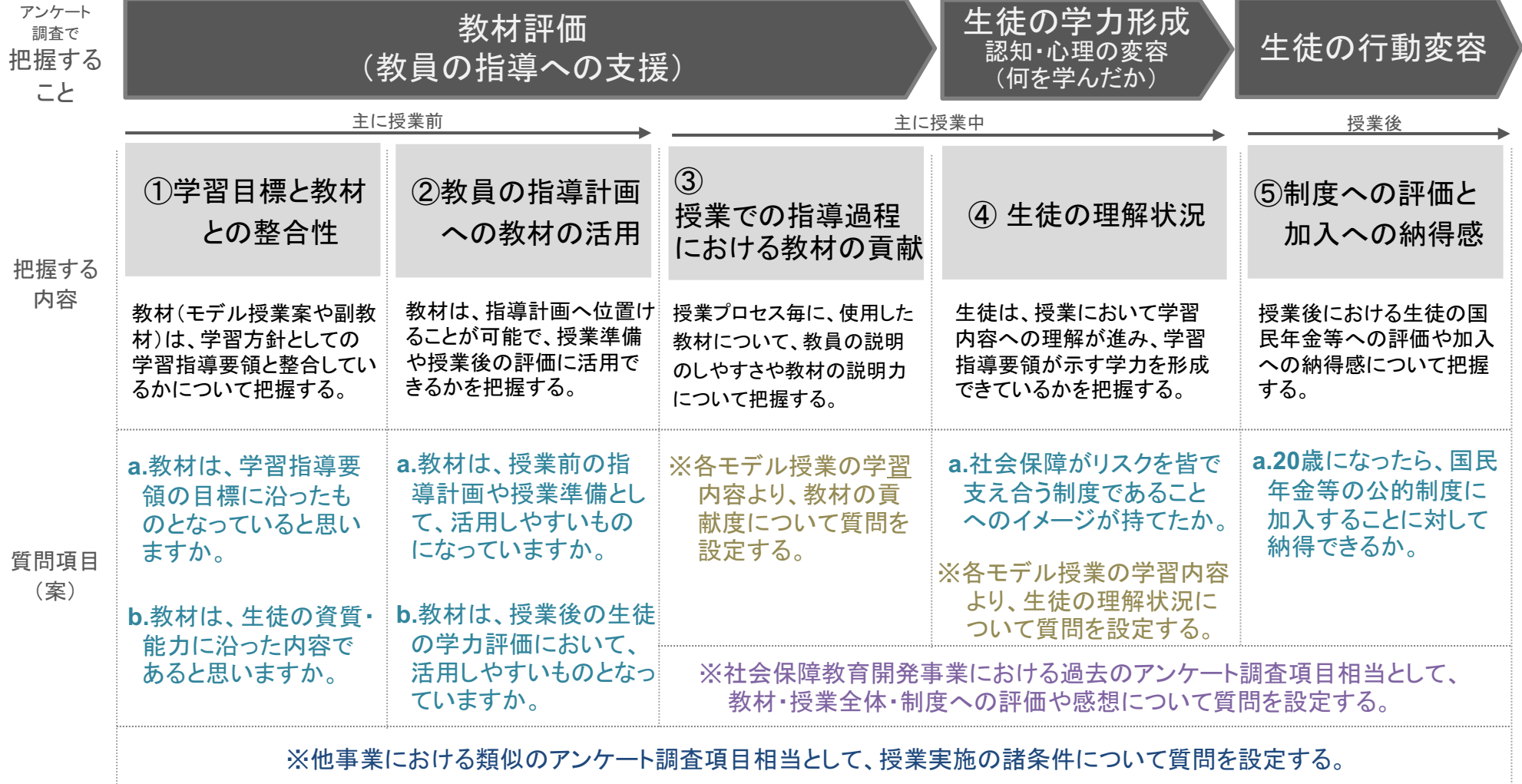


	教材評価	学力形成 (認知と心理の変容)	行動変容
アンケート調査で把握すること	<ul style="list-style-type: none"> 教材(モデル授業案や副教材)は、教員の指導を支援できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒は、授業において学習内容への理解が進み、学習指導要領が示す学力を形成できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 国民年金等の意義を理解しているか。
アンケート調査の対象	<ul style="list-style-type: none"> 教員(モデル授業の実施者) (追加として) 生徒:教材の分かり易さ 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒(実証校、4校1クラス) (追加として) 教員:教員自身の理解や関心 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒(実証校、4校1クラス)
想定される調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 教材と、学習目標および生徒のレディネスとの整合性(次頁①) 授業準備や授業後の評価への教材の役立ち(次頁②) 授業での指導過程における教材の貢献(次頁③) 	<ul style="list-style-type: none"> 学習目標への到達度 各学習項目ごとの理解度(次頁④) モデル授業で分からなかった所 	<ul style="list-style-type: none"> 国民年金等に参加することに対する納得感(次頁⑤) 学習内容への理解の定着度

本アンケート調査の質問項目案

▶ 本アンケート調査の質問項目案について、把握する項目ごとの位置づけとその内容を下図に示します。

アンケート調査での質問項目案



本事業における過去のアンケート項目（抜粋）

- 社会保障教育開発事業における過去のアンケート調査結果との比較を図るため、下表の紫文字部の項目を抽出しています。
- 生徒より、社会保障制度への評価・イメージや教材・授業全体への感想について、自由記述を含めて回答を得ます。

生徒向け

	アンケートデータ① 生徒	アンケートデータ② 生徒85名	アンケートデータ③ 生徒107名
意義、理解	社会保障教育制度の意義について理解できたか	—	【授業前】 問1.社会保障について知っていますか？ 【授業後】 問5.今回の授業を受けて、社会保障の仕組みが理解できましたか？ 【授業後】 問12.社会保障についてどう思いますか？お書きください。
イメージ	授業を受ける前後での社会保障のイメージがどのように変化したか	【実施前-1】 社会保障制度に対してどのようなイメージを持っていますか？ 【実施後-1】 社会保障制度に対してどのようなイメージを持っていますか？	【授業前】 問3.社会保障に対するイメージは？ 【授業後】 問6.社会保障に対するイメージは変わりましたか？
教材	授業で採用した社会保障教育の教材はわかりやすかったか	【実施後-3】 今回の授業で使った社会保障教育の教材はわかりやすかったですか？	【授業後】 問7.今回の授業で使用した社会保障の教材はわかりやすかったですか？
授業	授業の良かった点、改善点、感想等の自由記述	—	【授業後】 問9.授業への感想をお書きください。 【授業後】 問10.授業の良かったと思われる点をお書きください。 【授業後】 問11.授業について改善したら良いと思われる点をお書きください

教員向け

	アンケートデータ① 教員7名	アンケートデータ② 教員5名	アンケートデータ③ 教員5名
教員の関心	授業を行うことで、教員自身の社会保障への関心度はどう変化したか	授業実施前のご自身の社会保険への関心の度合いはどうか 授業実施後のご自身の社会保険への関心の度合いはどうか	【授業前】 問2.先生ご自身、社会保障に関心がありますか？ 【授業後】 問4. 今回の授業を実施して、先生ご自身の社会保障への関心はどのように変化しましたか？
授業や教材の改善点等	授業の良かった点、教材の良い点や改善点、授業に対する意見・感想について自由記述	—	【授業後】 問9.授業に関する意見・感想をお書きください。 【授業後】 問10.授業の良かったと思われる点をお書きください。 【授業後】 問11.次年度も授業を行う事を想定した場合、改善点がありましたらお書きください。 【授業後】 問13.今回の教材について良い点をお書きください。 【授業後】 問14.今回の教材について不足している点・改善点をお書きください。
感想	社会保障全般への感想自由記述	—	【授業後】 問12.社会保障全般についてどう思いますか？ご自由にお書きください。

➤ 社会保障教育と目的や対象が類似している財政教育と金融経済教育において、アンケートの特徴は次のとおりです。

財政教育

【授業の目的】

- ・日本の財政への理解

【アンケート目的】

- ・授業の質の向上
- ・効率的な運営による持続性の向上

【アンケートの特徴】

- ①授業実施の前後でのアンケート
→授業効果の検証が可能
- ②授業実施の諸条件(授業時間や授業コマ数、生徒の人数や学年等)に関するアンケート
→授業実施の諸条件による、授業効果の差異の検証が可能

金融経済教育

【授業の目的】

- ・金融リテラシーの向上

【アンケート目的】

- ・授業の質の向上

【アンケートの特徴】

- ①授業実施の前後でのアンケート
→授業効果の検証が可能

①は授業後に授業前の状態を、②は同等の諸条件に関する質問項目を追加する。
(想定される検証効果に対する学校現場の負担を勘案)

各モデル授業の学習内容より、アンケート質問項目を抽出 (例)

▶各授業モデル案における、学習指導要領が示す学力である「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」に対応する主要な学習内容を抽出(下図の背面黄色部)します。

モデル授業案 年金(標準型)

単元	学習内容	内容詳細	学習活動	学びの目標	教材・資料
1 前期目標	【理解してほしい内容】 ・日本の社会保険制度には、 社会保険 （医療・年金・介護）に加え、社会福祉（児童手当、障害者福祉サービス等）、公的扶助（生活保護等）、公営住宅（公営住宅等・保護事業等）がある。 ・社会保険は、人々が生活のリスクを分かち合うため、法律で対象者を定め加入を義務付けている。保険料の金額は定額または賃金などの拠出能力に応じて決まる。（必要な保険料を拠出していないと必要な時にサービスを受けることができない。低所得者には保険料の軽減を実施。）	【説明】社会保険制度の全体像について考えてみよう。 ・一生の間にどのような社会保険を受ける可能性があるかを各自で考えてみる。	【教材】 ・ワークシート形式 ・ライフイベントごとに対応する社会保険制度を式で示す。 ・ケーススタディ形式 社会保険制度が存在しなかった場合、私たちのようなことになるかを考える。 ・外部講師の活用 年近い卒業生（出陣、子育て、医療、介護で苦労した体験を語ってもらう）、老齢年金等（年金についてどう考えるか聞く）、各国民（各世帯）の社会保険制度について聞く。へのインタビュー、卒業生に対して日本年金機構による「年金生活について」のインタビュー。 ・新聞の閲覧 「家族を思うとき」等社会保険制度を題材にした映画を観る。	【目標】 ・社会保険の仕組みについて理解する。 ・社会保険の役割や意義について理解する。	【教材・資料】 ・社会保険制度の全体像について考えてみよう。 ・一生の間にどのような社会保険を受ける可能性があるかを各自で考えてみる。
導入	社会保険の全体について考える。	社会保険は、人々が生活のリスクを分かち合うため、法律で対象者を定め加入を義務付けている。保険料の金額は定額または賃金などの拠出能力に応じて決まる。（必要な保険料を拠出していないと必要な時にサービスを受けることができない。低所得者には保険料の軽減を実施。）	・新聞の閲覧 「家族を思うとき」等社会保険制度を題材にした映画を観る。	【目標】 ・社会保険の仕組みについて理解する。 ・社会保険の役割や意義について理解する。	【教材・資料】 ・社会保険制度の全体像について考えてみよう。 ・一生の間にどのような社会保険を受ける可能性があるかを各自で考えてみる。
展開①	公的年金制度の意義について理解する。	＜理解のポイント＞ ・「年金」という「老齢年金」がイメージされ、高齢者のものとイメージされがちだが、実際にはあらゆるリスクに対してあり、全世代の安心のための制度である。	＜伝えたいポイント＞ ・公的年金制度は、予測できない将来に備えるための年金制度には、「老齢年金」「障害年金」「国民年金」が「老齢年金」「障害年金」「遺族年金」が「老齢年金」である。	【目標】 ・公的年金制度の意義について理解する。	【教材・資料】 ・社会保険制度の全体像について考えてみよう。 ・一生の間にどのような社会保険を受ける可能性があるかを各自で考えてみる。
展開②	公的年金制度の仕組みと必要となることについて理解する。	＜理解のポイント＞ ・「年金」という「老齢年金」がイメージされ、高齢者のものとイメージされがちだが、実際にはあらゆるリスクに対してあり、全世代の安心のための制度である。	【目標】 ・公的年金制度の仕組みと必要となることについて理解する。	【目標】 ・公的年金制度の仕組みと必要となることについて理解する。	【教材・資料】 ・社会保険制度の全体像について考えてみよう。 ・一生の間にどのような社会保険を受ける可能性があるかを各自で考えてみる。
まとめ	公的年金制度の仕組みと必要となることについて理解する。	＜理解のポイント＞ ・「年金」という「老齢年金」がイメージされ、高齢者のものとイメージされがちだが、実際にはあらゆるリスクに対してあり、全世代の安心のための制度である。	【目標】 ・公的年金制度の仕組みと必要となることについて理解する。	【目標】 ・公的年金制度の仕組みと必要となることについて理解する。	【教材・資料】 ・社会保険制度の全体像について考えてみよう。 ・一生の間にどのような社会保険を受ける可能性があるかを各自で考えてみる。



モデル授業案 医療(標準型)

単元	学習内容	内容詳細	学習活動	学びの目標	教材・資料
1 前期目標	【理解してほしい内容】 ・日本の社会保険制度には社会保険（医療・年金・介護）に加え、社会福祉（児童手当、障害者福祉サービス等）、公的扶助（生活保護等）、公営住宅（公営住宅等・保護事業等）がある。 ・社会保険は、全ての人々が生活のリスクを分かち合うため、法律で対象者を定め加入を義務付けている。保険料の金額は賃金などの拠出能力に応じて決まる。（必要な保険料を拠出していないと必要な時にサービスを受けることができない。低所得者には保険料の軽減を実施。）	【説明】社会保険制度の全体像について考えてみよう。 ・一生の間にどのような社会保険を受ける可能性があるかを各自で考えてみる。	【教材】 ・ワークシート形式 ・ライフイベントごとに対応する社会保険制度を式で示す。 ・ケーススタディ形式 社会保険制度が存在しなかった場合、私たちのようなことになるかを考える。 ・外部講師の活用 年近い卒業生（出陣、子育て、医療、介護で苦労した体験を語ってもらう）、老齢年金等（年金についてどう考えるか聞く）、各国民（各世帯）の社会保険制度について聞く。へのインタビュー、卒業生に対して日本年金機構による「年金生活について」のインタビュー。 ・新聞の閲覧 「家族を思うとき」等社会保険制度を題材にした映画を観る。	【目標】 ・社会保険の仕組みについて理解する。 ・社会保険の役割や意義について理解する。	【教材・資料】 ・社会保険制度の全体像について考えてみよう。 ・一生の間にどのような社会保険を受ける可能性があるかを各自で考えてみる。
導入	社会保険の全体について考える。	社会保険は、人々が生活のリスクを分かち合うため、法律で対象者を定め加入を義務付けている。保険料の金額は賃金などの拠出能力に応じて決まる。（必要な保険料を拠出していないと必要な時にサービスを受けることができない。低所得者には保険料の軽減を実施。）	・新聞の閲覧 「家族を思うとき」等社会保険制度を題材にした映画を観る。	【目標】 ・社会保険の仕組みについて理解する。 ・社会保険の役割や意義について理解する。	【教材・資料】 ・社会保険制度の全体像について考えてみよう。 ・一生の間にどのような社会保険を受ける可能性があるかを各自で考えてみる。
展開①	公的年金制度の意義について理解する。	＜理解のポイント＞ ・「年金」という「老齢年金」がイメージされ、高齢者のものとイメージされがちだが、実際にはあらゆるリスクに対してあり、全世代の安心のための制度である。	＜伝えたいポイント＞ ・公的年金制度は、予測できない将来に備えるための年金制度には、「老齢年金」「障害年金」「国民年金」が「老齢年金」「障害年金」「遺族年金」が「老齢年金」である。	【目標】 ・公的年金制度の意義について理解する。	【教材・資料】 ・社会保険制度の全体像について考えてみよう。 ・一生の間にどのような社会保険を受ける可能性があるかを各自で考えてみる。
展開②	公的年金制度の仕組みと必要となることについて理解する。	＜理解のポイント＞ ・「年金」という「老齢年金」がイメージされ、高齢者のものとイメージされがちだが、実際にはあらゆるリスクに対してあり、全世代の安心のための制度である。	【目標】 ・公的年金制度の仕組みと必要となることについて理解する。	【目標】 ・公的年金制度の仕組みと必要となることについて理解する。	【教材・資料】 ・社会保険制度の全体像について考えてみよう。 ・一生の間にどのような社会保険を受ける可能性があるかを各自で考えてみる。
まとめ	公的年金制度の仕組みと必要となることについて理解する。	＜理解のポイント＞ ・「年金」という「老齢年金」がイメージされ、高齢者のものとイメージされがちだが、実際にはあらゆるリスクに対してあり、全世代の安心のための制度である。	【目標】 ・公的年金制度の仕組みと必要となることについて理解する。	【目標】 ・公的年金制度の仕組みと必要となることについて理解する。	【教材・資料】 ・社会保険制度の全体像について考えてみよう。 ・一生の間にどのような社会保険を受ける可能性があるかを各自で考えてみる。



知識・技能に関する学習項目

思考力・判断力・表現力に関する学習項目

アンケートで質問する学習項目

アンケート調査票案（生徒向け）

▶ 下図に生徒向けのアンケート調査票の例を記載しています。教員の回収負荷軽減としてWEB形式でのアンケートを予定しています。また生徒からの回収率向上のためPCの他、スマートフォンでの回答も可能とする予定です。

生徒向けアンケート例（医療：モデル授業①の場合）

※質問No2で設定する学習内容は、実証校等での指摘により、変更する可能性があります。

* 1.（授業を受けた後での）社会保障のイメージを回答してください

良い やや良い やや悪い 悪い

（制度への評価）
過去アンケート相当
選択式（4段階）

2. 授業で学習した次の内容の内、Q1のイメージに関連するものを選択してください（複数選択可）

1時間目：社会保障制度（概要）について 2時間目：日本の公的医療制度の課題

1時間目：公的医療保険制度の仕組み 2時間目：課

1時間目：国民皆保険制度について 2時間目：課
ること

【学力形成】
各モデル授業より抽出
選択式（4段階）

* 3. 授業で使用した教材は分かりやすかったですか

★ ★ ★

【教材評価】
過去アンケート相当
選択式（4段階）

* 4. 人生には様々なリスクが潜んでいて、社会保障がリスクに対して国民全体で支え合う制度であることについて、具体的にイメージが持てましたか

★ ★ ★

【学力形成】
質問項目④-a
選択式（4段階）

5. 授業の良かったと思うところをお書き下さい

（授業への評価）
過去アンケート相当
記述式

6. 授業内容として改善するとよいことをお書き下さい

* 7. 20歳になったら国民年金等に加入することに納得感はありますか

コメントがあれば記載してください

【行動変容】
質問項目⑤-a
選択式（4段階）と記述式

8. 社会保障制度についてどう思いますか

授業前はどう思
ってましたか

授業後はどう思
ってますか

（制度への評価）
過去アンケート相当
記述式

✓ 質問No前の「*」は必須回答。
✓ WEBアンケートツールとして「SurveyMonkey®」での例を記載しています。
使用ツールは変更する可能性があります。

▶ 下図に教員向けのアンケート調査票の例（医療：モデル授業①）を記載しています。

教員向けアンケート例（医療：モデル授業①の場合） 1/2

※質問No3で設定する学習内容は、実証校等での指摘により、変更する可能性があります。

1. 学習目標と教材との整合性

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
教材は学習指導要領の目標に沿っていると思いますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
教材は生徒の資質・能力に沿った内容であると思いますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
コメントがあれば記載してください				

【教材評価】
質問項目①-a,b
選択式（4段階）と記述式

2. 指導計画等への教材の活用

	活用できる	一部活用できる	あまり活用できない	活用できない
教材は、授業前の指導計画や授業準備として活用しやすいものになっていますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
教材は、授業後の生徒の学力評価において、活用しやすいものになっていますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
コメントがあれば記載してください				

【教材評価】
質問項目②-a,b
選択式（4段階）と記述式

3. 授業での指導過程における教材の貢献

	活用できる	一部活用できる	あまり活用できない	活用できない
社会保障制度（概要）について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
公的医療保険制度の仕組み	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
国民皆保険制度について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
日本の公的医療制度の課題	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
課題に対して私たちができること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
課題に対して社会全体としてできること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
コメントがあれば記載してください				

【教材評価】
各モデル授業より抽出
選択式（4段階）と記述式

4. (Q3で「あまり活用できない」または「活用できない」と回答された方) 教材について改善するところをお書き下さい

【教材評価】
過去アンケート相当
記述式

✓WEBアンケートツールとして「SurveyMonkey®」での例を記載しています。使用ツールは変更する可能性があります。

▶ 下図に教員向けのアンケート調査票の例（医療：モデル授業①）を記載しています。

教員向けアンケート例（医療：モデル授業①の場合） 2/2

5. (Q3で「活用できる」または「一部活用できる」と回答された方) 教材の良いところをお書き下さい

【教材評価】
過去アンケート相当
記述式

6. 授業に関する意見・感想をお書き下さい

（授業への評価）
過去アンケート相当
記述式

7. 今回の授業を実施して、先生ご自身の社会保障への関心はどのように変化しましたか

（制度への評価）
過去アンケート相当
記述式

8. 授業実施に当たって

授業準備時間

授業後のフォローに係る時間

授業を受けた生徒数

通常の卒業後の進路割合（大学進学、短大・専門学校、就職、その他）

（授業実施の諸条件）
類似アンケート相当
記述式

✓WEBアンケートツールとして「SurveyMonkey®」での例を記載しています。使用ツールは変更する可能性があります。